

～今回のテーマ～

ホットパック

今回は物理療法の第7弾としてホットパックをご紹介します。ホットパックとは暖かいもので体を覆うものの総称です。主に厚い布にシリカゲルなどの入ったものを指します。このシリカゲルの入ったホットパックを80度のお湯の入ったハイドロコレーターという機械で温めます。これをタオルに包み患部に当てることで温熱治療を行います。

電気を使用していないためマイクロ波治療器とは異なり、ペースメーカーを使用されている患者様もご利用いただけます。

ホットパックは温熱作用により患部を温め血行の改善や筋肉の緊張を緩め、痛みを軽減させる効果などがあります。

急性期を除く腰痛やリウマチ、変形性関節症、筋肉のスパズム(肩こりなど)などが適応となります。

腰や肩など複数の箇所を同時に治療することも可能です。肩や腰などの痛みが気になりましたらぜひ診察にてご相談ください。

